

平成22年8月期 第1四半期決算短信

平成22年1月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー
 コード番号 6255 URL <http://www.npcgroup.net>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画情報部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日
 配当支払開始予定日

(氏名) 隣 良郎
 (氏名) 佐藤 寿

TEL 03-5615-5069

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第1四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第1四半期	4,320	22.7	951	39.0	959	38.1	604	35.3
21年8月期第1四半期	5,585		1,560		1,549		934	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第1四半期	34.36	32.54
21年8月期第1四半期	106.66	100.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第1四半期	12,523	8,001	63.9	449.42
21年8月期	14,999	7,462	49.7	851.61

(参考) 自己資本 22年8月期第1四半期 8,001百万円 21年8月期 7,462百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期		0.00		8.00	8.00
22年8月期					
22年8月期 (予想)		0.00		4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	7,172	23.3	1,094	51.0	1,201	45.9	721	46.2	41.15
連結累計期間									
通期	15,803	11.6	2,108	19.7	2,324	11.4	1,394	11.5	79.58

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第1四半期	17,805,120株	21年8月期	8,762,560株
期末自己株式数	22年8月期第1四半期	146株	21年8月期	73株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年8月期第1四半期	17,589,589株	21年8月期第1四半期	8,762,560株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、4ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 平成21年8月31日現在の株主に対し平成21年9月1日付をもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策の効果により景気を持ち直しが期待されつつも、雇用不安等の先行き不透明感により個人消費が低調に推移し、企業の設備投資も依然として低迷しました。

このような状況下、当社グループの主力事業である太陽電池製造装置事業におきましては、前連結会計年度末あたりから技術力を有する大手太陽電池メーカーの業績の回復が見られるようになり、また、太陽電池システムの価格下落により太陽電池プロジェクトの投資利回りが高くなってきていることや、南欧、東欧、アジア等の新たな地域において太陽電池設置支援政策が導入・発表されたこと等の影響で、太陽電池の普及はより一層の世界的な広がりを見せてきております。それに伴い、当社グループの製造装置に対する引き合いも再び活発化しており、当第1四半期連結会計期間においては、受注は緩やかな回復基調となりました。

一方、真空包装機事業におきましては、主力の食品業界市場が縮小傾向にあることから、真空技術を生かした真空断熱パネル製造装置等の新たな需要を掘り起し、特殊真空包装機の販売を推進してきました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は4,320,487千円（前年同期比77.3%）、営業利益は951,356千円（同61.0%）、経常利益は959,238千円（同61.9%）、四半期純利益は604,322千円（同64.7%）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(1) 太陽電池製造装置事業

太陽電池製造装置事業においては、第2四半期連結会計期間で売上計上を予定していた大型案件の一部を、顧客の早期納品要望に応え、当第1四半期連結会計期間に前倒しで売上計上した結果、売上高は4,234,386千円（前年同期比77.0%）となり、営業利益は1,116,966千円（同64.6%）となりました。

(2) 真空包装機事業

真空包装機事業においては、販売先の多角化を進めたものの、主力の食品業界の設備投資の低下の影響で、売上高は86,101千円（前年同期比99.6%）となり、6,839千円の営業損失（前年同期は13,845千円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産については12,523,204千円となり、前連結会計年度末に比べ2,476,748千円減少しました。主な要因は以下のとおりであります。

① 資産

流動資産につきましては8,729,763千円となり、前連結会計年度末に比べ2,476,676千円の減少となりました。

これは主として、現金及び預金の減少1,237,401千円及び仕掛品の減少1,181,935千円によるものであります。固定資産につきましては3,793,440千円となり、前連結会計年度末に比べ72千円の減少となりました。

② 負債

負債につきましては4,521,289千円となり、前連結会計年度末に比べ3,016,437千円の減少となりました。流動負債につきましては4,508,855千円となり、前連結会計年度末に比べ3,015,860千円の減少となりました。これは主として、前受金の減少1,543,651千円、支払手形及び買掛金の減少859,517千円及び未払法人税等の減少480,356千円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては8,001,914千円となり、前連結会計年度末に比べ539,689千円の増加となりました。これは主として利益剰余金の増加534,222千円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ1,217,450千円減少し、1,039,155千円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により使用した資金は1,131,358千円(前年同期は1,062,451千円の収入)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上1,004,084千円及びたな卸資産の減少1,185,133千円があった一方で、前受金の減少1,543,651千円、仕入債務の減少858,742千円及び法人税等の支払836,506千円があったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は36,680千円(前年同期は2,022,384千円の使用)となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出25,310千円があったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は47,416千円(前年同期は28,422千円の使用)となりました。これは主として配当金の支払56,376千円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年8月期(平成21年9月1日～平成22年8月31日)通期連結業績につきましては、受注案件が順調に売上計上されていること及び受注が回復基調になったことにより、売上高は15,803百万円(前期比111.6%)を見込んでおります。一方で、太陽電池メーカー間のコスト競争が激化する中で、製造装置メーカーに対してもコストダウン圧力がかかっております。当社グループとしましては、更なる原価低減努力や装置性能の引き上げによる実質的なコストダウンにより、太陽電池メーカーのニーズに応じていく所存であります。当連結会計年度においては、一時的な収益性の低下も想定しており、営業利益2,108百万円(同80.3%)、経常利益2,324百万円(同88.6%)、当期純利益1,394百万円(同88.5%)を見込んでおります。

なお、上記数値は平成21年10月14日に公表しております「平成21年8月期決算短信」の内容と同一であり、第2四半期連結累計期間及び通期の期初計画に変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

Ⅰ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費を期間按分して算定する方法によっております。

Ⅱ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

Ⅲ たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価の切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価の切下げを行う方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,139,155	5,376,557
受取手形及び売掛金	1,580,913	1,271,487
商品及び製品	105,764	93,531
仕掛品	2,499,806	3,681,741
原材料及び貯蔵品	131,946	147,657
繰延税金資産	159,917	187,839
その他	122,594	468,939
貸倒引当金	△10,335	△21,315
流動資産合計	8,729,763	11,206,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,943,937	1,939,514
減価償却累計額	△173,038	△150,471
建物及び構築物(純額)	1,770,898	1,789,042
土地	1,429,414	1,429,414
その他	419,014	408,087
減価償却累計額	△190,859	△173,970
その他(純額)	228,154	234,116
有形固定資産合計	3,428,468	3,452,573
無形固定資産	120,314	123,354
投資その他の資産		
その他	245,367	218,287
貸倒引当金	△709	△702
投資その他の資産合計	244,657	217,584
固定資産合計	3,793,440	3,793,512
資産合計	12,523,204	14,999,952

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,612,335	3,471,853
未払法人税等	373,250	853,606
前受金	1,046,147	2,589,798
受注損失引当金	131,150	110,023
その他	345,971	499,433
流動負債合計	4,508,855	7,524,716
固定負債		
繰延税金負債	12,434	13,011
固定負債合計	12,434	13,011
負債合計	4,521,289	7,537,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,162,482	2,158,002
資本剰余金	2,084,896	2,080,416
利益剰余金	3,783,971	3,249,748
自己株式	△321	△321
株主資本合計	8,031,028	7,487,845
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	1,951	105
為替換算調整勘定	△31,065	△25,726
評価・換算差額等合計	△29,114	△25,620
純資産合計	8,001,914	7,462,225
負債純資産合計	12,523,204	14,999,952

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
売上高	5,585,770	4,320,487
売上原価	3,589,243	2,853,099
売上総利益	1,996,526	1,467,388
販売費及び一般管理費	436,196	516,031
営業利益	1,560,329	951,356
営業外収益		
受取利息	3,153	4,302
受取配当金	2	—
為替差益	—	1,319
その他	1,211	3,607
営業外収益合計	4,366	9,229
営業外費用		
支払利息	165	—
支払手数料	—	1,344
為替差損	14,084	—
その他	1,419	3
営業外費用合計	15,669	1,347
経常利益	1,549,026	959,238
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6,284	10,590
補助金収入	—	34,256
特別利益合計	6,284	44,846
税金等調整前四半期純利益	1,555,311	1,004,084
法人税、住民税及び事業税	632,543	373,709
法人税等調整額	△11,857	26,053
法人税等合計	620,685	399,762
四半期純利益	934,625	604,322

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,555,311	1,004,084
減価償却費	32,708	48,254
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,048	△10,929
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△4,898	21,127
受取利息及び受取配当金	△3,155	△4,302
支払利息	165	—
売上債権の増減額(△は増加)	△376,729	△310,612
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,724,845	1,185,133
仕入債務の増減額(△は減少)	△840,775	△858,742
前受金の増減額(△は減少)	△451,475	△1,543,651
その他	△115,769	174,253
小計	1,518,178	△295,384
利息及び配当金の受取額	3,239	531
利息の支払額	△165	—
法人税等の支払額	△458,800	△836,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,062,451	△1,131,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,603,012	—
定期預金の払戻による収入	83,745	19,951
有形固定資産の取得による支出	△466,798	△25,310
無形固定資産の取得による支出	△28,908	△4,212
その他	△7,410	△27,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,022,384	△36,680
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	—	8,960
配当金の支払額	△28,422	△56,376
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,422	△47,416
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,287	△1,993
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,020,642	△1,217,450
現金及び現金同等物の期首残高	4,879,272	2,256,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,858,629	1,039,155

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成20年11月30日)

	太陽電池製造 装置事業 (千円)	真空包装機 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,499,319	86,450	5,585,770	—	5,585,770
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,499,319	86,450	5,585,770	—	5,585,770
営業利益又は営業損失(△)	1,728,379	△13,845	1,714,533	△154,203	1,560,329

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、事業内容を勘案して次のとおり区分しております。

- (1) 太陽電池製造装置事業 —— 太陽電池製造装置の開発製造及び販売に関する事業
 (2) 真空包装機事業 —— 真空包装機の開発製造及び販売に関する事業

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) 太陽電池製造装置事業の主要製品
セルテスター、セル自動配線装置、真空ラミネーター、モジュールテスター、
薄膜モジュール製造ライン等
 (2) 真空包装機事業の主要製品
小型卓上式真空包装機、テーブル式真空包装機、連続自動式真空包装機等

3. 「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更等」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原材料については月次総平均法による原価法から月次総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に、製品、仕掛品及び貯蔵品については個別法による原価法によっておりますが、製品、仕掛品及び貯蔵品は個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この結果、従来の方法に比べ、第1四半期連結会計期間の各事業に与える影響はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)

	太陽電池製造 装置事業 (千円)	真空包装機 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,234,386	86,101	4,320,487	—	4,320,487
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,234,386	86,101	4,320,487	—	4,320,487
営業利益又は営業損失(△)	1,116,966	△6,839	1,110,127	△158,770	951,356

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、事業内容を勘案して次のとおり区分しております。

- (1) 太陽電池製造装置事業 —— 太陽電池製造装置の開発製造及び販売に関する事業
 (2) 真空包装機事業 —— 真空包装機の開発製造及び販売に関する事業

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) 太陽電池製造装置事業の主要製品
セルテスター、セル自動配線装置、真空ラミネーター、モジュールテスター、
薄膜モジュール製造ライン等
 (2) 真空包装機事業の主要製品
小型卓上式真空包装機、テーブル式真空包装機、連続自動式真空包装機等

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成20年11月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,523,064	30,707	31,998	5,585,770	—	5,585,770
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	68,046	87,754	80,816	236,618	△236,618	—
計	5,591,111	118,461	112,815	5,822,388	△236,618	5,585,770
営業利益	1,623,913	64,790	10,165	1,698,868	△138,539	1,560,329

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域

北米：米国

欧州：ドイツ

当第1四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,247,932	16,119	56,435	4,320,487	—	4,320,487
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	52,552	83,725	14,087	150,365	△150,365	—
計	4,300,485	99,844	70,522	4,470,852	△150,365	4,320,487
営業利益又は営業損失(△)	1,065,336	58,995	△7,619	1,116,712	△165,355	951,356

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域

北米：米国

欧州：ドイツ

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成20年11月30日)

	欧州・アフリカ	アジア	北中南米	その他	計
I 海外売上高(千円)	797,997	1,076,685	3,579,763	1,920	5,456,367
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	5,585,770
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.3	19.3	64.1	0.0	97.7

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域

(1) 欧州・アフリカ：ドイツ、フランス、スペイン、チェコ、ハンガリー、オランダ、南アフリカ等

(2) アジア：中国、韓国、台湾、タイ、インド、フィリピン等

(3) 北中南米：米国、メキシコ等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)

	欧州・アフリカ	アジア	北中南米	その他	計
I 海外売上高(千円)	195,201	1,718,926	2,088,262	910	4,003,300
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	4,320,487
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	4.5	39.8	48.3	0.0	92.7

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域

(1) 欧州・アフリカ：ドイツ、フランス、スペイン、チェコ、ハンガリー、オランダ、南アフリカ等

(2) アジア：中国、韓国、台湾、タイ、インド、フィリピン等

(3) 北中南米：米国、メキシコ等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日) (千円)	前年同四半期比 (%)
太陽電池製造装置事業	2,287,089	72.7
真空包装機事業	186,694	160.1
合計	2,473,783	75.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結会計期間の受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
太陽電池製造装置事業	3,034,918	102.0	6,243,045	69.9
真空包装機事業	240,633	151.7	201,620	174.0
合計	3,275,551	104.5	6,444,666	71.2

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日) (千円)	前年同四半期比 (%)
太陽電池製造装置事業	4,234,386	77.0
真空包装機事業	86,101	99.6
合計	4,320,487	77.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。